

このところスポーツのニュースがあれこれと賑やかですね。夜更かしの続いている方もおいことでしょう。どうぞ無理のありませんように。

お知らせ

- ・第7回園遊会 7月24日(土)25日(日) ヴォーリス六甲山荘
- ・送り火の会 8月16日(月) 駒井家住宅
- ・創立10周年記念コンサート 8月24日(火) 出演・アンサンブル・アメニティ 会場・兵庫県立芸術文化センター
- ・創立10周年記念 神戸国際ワーキングホリデー 9月1日(水)~6日(月)
- ・創立10周年記念講演会 10月9日(土) 講演・河合雅雄氏、山極寿一氏 会場・関西学院中学部講堂
- ・ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会 10月16日(土) 北海道北見市

記念コンサート・チケット販売のお願い!

すでにご案内しておりますが、8月24日(火)に創立10周年記念コンサートを開催します。会場は兵庫県立芸術文化センター小ホールです。音響のとてもしつこい聴きやすいホールですが、収容人数が約400人です。

そこでチラシとチケットを会員の皆さまにお送りします。お知り合いにどんどん宣伝をお願いいたします。

詳細についてはチケットに添えた案内状をごらんください。

ホールを満員にして、コンサートを成功させましょう!

!募集します!

神戸国際ワーキングホリデーの日本人参加者とスタッフ

9月1日(水)から6日(月)にかけてヴォーリス六甲山荘を中心に開催されるワーキングホリデーですが、海外からの参加者は出そろいました。イギリスから1名、韓国から2名、台湾から2名です。それに対して日本国内からの参加者が現在1名のみです。あと4名の参加者を募集しています。会員の方でも、一般の方でも、年齢不問です。お知り合いに関心をおもちの方がおられましたら、ぜひお誘いください。

また期間中参加者のお世話をするスタッフが大勢必要です。食事、風呂など生活面でのバックアップがおもな仕事です。期間中交代で山荘に詰めていただきます。こちらにもご参加お待ちしております。

ご報告1 第5回英国ナショナル・トラストの旅~アイルランド 6月10日(木)~18日(金)

とにかくいい旅でした。訪問先よし、行程よし、ホテルよし、ガイドよし、添乗員よし、天気もよし・もちろんメンバーもよし。北アイルランドではナショナル・トラストのプロパティを訪問。お屋敷と庭園、海辺の吊り橋、古い酒場、奇石の並ぶ海岸(世界遺産)とバラエティに富んだ組み合わせでした。アイルランド共和国では、紀元前5000年の古墳(世界遺産)やキリスト教初期の修道院、実業家が愛妻のために建てた邸など、アイルランドの歴史を考へながら見るといっそう印象深い場所ばかりでした。入念に企画立案してくださった御勢真知子さん、稲葉元子さんにあらためて感謝です。参加者16名



ジャイアントコースウェイ (NT) での記念写真

六甲山荘の宿泊のご案内

六甲山荘の真髄は宿泊してこそ味わえます。特に鳥の声で目がさめる朝のすがすがしさはほかでは体験できません。

7月から9月までヴォーリス六甲山荘での宿泊を受け付けています。あの山荘に泊まれるのは会員とその家族の特典です。

料金: 会員 3,000 円 非会員の家族 5,000 円 (小学生以下は半額)

食事: 自炊あるいは外食 (厨房器具と食器はお使いいただけます)

お申し込みは1週間前までをお願いします。

詳しくはアメニティ・レポート2009に掲載されていますのでご覧ください。

清水 彬久

私が所属するアメニティ2000協会(以後当協会という)では、「環境を重視したやさしい文化の創造」を事業目的にした活動をしてきています。その目的を実現するために据えていますのがナショナル・トラスト運動(以後同運動という)です。同運動は、環境を保全する方法として英国で1895年に誕生したもので、同国では環境保護運動のシンボリック存在にまでなっています。そしてその保全方法は、貴重な環境資産が保存されるべき状態に陥った場合、自ら取得して管理・運営していきます。その取得資金は、市民からの募金等による基金で賄われていく純粋な民間活動であることが特質であります。

日本での同運動は、戦後になって全国各地で行われるようになります。しかしそのほとんどが自然資産の保護が中心で文化財を対象とするものがみられません。ここで当協会が取り組みました同運動によって文化財を保存・公開している希少な実例を紹介したいと思います。それは、南に瀬戸内海、北に六甲山系に挟まれています神戸市の市内から1時間以内で行ける六甲山上にW・M・ヴォーリズが設計しました山荘建築です。この山荘は1934年に建てられ、ヴォーリズ設計による代表的な山荘建築と評価されています。さらに、オリジナルの建築がそのまま保全維持され、70年以上経過した今も保存状態が極めて良いことが建築的価値を高めているのです。この山荘は個人の別荘として建てられました。その後学校法人に所有が移り、2008年3月に当協会が保存を目的として購入し、今は「ヴォーリズ六甲山荘」(以後山荘という)と呼び、経済産業省の近代化産業遺産に認定、国有形登録文化財に登録、兵庫県近代住宅100選に選定されています。

当協会が、山荘を同運動によって購入するに到ったかの経緯をご説明します。それは、2002年に遡ります。同校は六甲学舎として使用していた山荘を閉鎖しました。その時「あのような貴重な建物は、このままにしておけない」ということで、同校と保存のための交渉を幾度も重ねていきます。一方、会員たちの調査の結果、阪神間の中でも、当協会が保存活動すべき最優先の対象であると判断するに至るのです。当協会は、設立まもない時期ですから基金の積み立ても僅かで、正直言って購入できる用途はありませんでした。しかし、当協会が標榜している同運動によって自らの手で保存していこうという意思決定を行います。そして、2004年3月、正式に購入申し出を行ない、紆余曲折の末同校から譲りたいとの申し出があったのです。

いよいよ購入のための資金集めをしなければなりません。そこで目標額を定め募金活動を展開しました。当初なんの目算もありませんでしたが、お蔭様で募金額は、引渡し時まで372名の方々からのご寄付があり、この活動への社会的賛同を実感することができたのです。そして、手許の積立金と会員引受けによる基金債の発行によって用途をたて、同運動による「ヴォーリズ六甲山荘」の誕生となりました。2008年7月からは一般公開をしています。全国から来場されヴォーリズ建築の魅力に浸っていただいています。

同運動には、文化財を保存する方法として次のような優位性と課題があります。最も優れていると評価できるのは、主体となる法人が自ら取得・保存しますから保全・管理手法として安全・確実であることです。そして、一般公開を原則としますから公共性の高い施設として活用されることとなります。次に、同運動の基本が市民活動であるということです。それが地域性という広がりを生んでいき、私たちが守るといふ共有意識が育成されていきます。しかし、資金調達から資産管理は自力でしなければなりません。募金活動をするにしても一般市民に共感してもらえるだけの説得力がいります。そのために運動の成否は、文化財価値の見極めと求心するだけの魅力があるかの判断が重要となります。

一方、日本では同運動を推進する法制度がないという懸案があります。英国で同運動が発達・定着することができた要因には法整備がありました。それは、トラスト法の制定によって、同団体への現金による寄付・相続資産等の贈与が無税となったことが飛躍的に拡大できたのです。日本では現状法制化の動きはあるのですが、それも自然生態環境に限定されるもので、文化財保護は対象になっていません。このような後進性の状況では、環境保全の有効手段とする同運動がまだまだ根付いていないとは言えません。そして、最大の課題は国民の視点で文化財を守るという土壌が醸成できるかにあるような気がしています。

「建築ジャーナル」8月号掲載予定

予告1**園遊会 at ヴォーリズ六甲山荘でお楽しみください**

園遊会は7月の終わり、梅雨があけて夏の暑さが全開のころ、六甲山上のさわやかさが一番実感できる季節です。音楽を楽しみ、アート作品を楽しみ、お茶を楽しみ・・・山荘の居心地の良さも楽しめるひとときです。お昼ごはんも用意いたします(先着順)。お知り合いをお誘いのうえどうぞご参加ください。

日時 2010年7月24日(土)25日(日) 午前11時～午後3時半

音楽演奏 24日: フランスシター(高井和代)

25日: アルパ&ギター(田村恵子、松田崇弘)

参加費 会員1,000円 一般1,500円 (要予約、いずれもお茶券つき)

おしゃべりアラカルト

建物の保存を考える in Tokyo

横道 洋子

“谷根千(やねせん)”をご存知ですか。東京の下町地区、谷中・根津・千駄木を指す総称で、地域誌「谷根千」の活動によって定着したようです。戦災や大規模開発をあまり受けず一昔前の町並みが残る地域で、今回の“建物の保存を考える in Tokyo”の核となる旧安田邸は千駄木の屋敷町にあるので、管理されている「たてもんの応援団」に界隈の情報をうかがいました。この辺文京区の観光ガイド地図は大変よく出来ていて、お寺が並ぶ谷中への道、古くからの商店が並ぶ根津への道を歩くと、隠れた旧跡の多さに上野寛永寺の縄張りを感じます。谷中には明治期の木造二階建て和館市田邸が今も活用され(今回割愛)周辺はNPOの力強い活動がうかがわれました。

根津のはん亭(串揚げ屋)は黒々とした木造三階建てを見上げるだけで心躍る存在感。下駄の爪皮屋が財を成して建てたとは、当時の町の繁栄をしのばせる存在です。すぐ近くには凝った造作の洋館付き和風の邸や戦前からの店舗が混在する楽しい町です。近くの住宅地にとけ込

むような木造の根津教会、内部は集中式の聖堂で、さりげなく地域とのコミュニケーションをわかち合う雰囲気があります。何度か足を運ぶうち、見過ごしてしまうようなもの、坂道・蔵・空地なども大切にすることの町並々ならぬ愛情が感じられてきました。安田邸を支える方々の活力も、“木造邸宅と庭園の穏やかなエネルギーに支えられている”とマネージャーが言われました。胸に残る言葉でした。

今回は戦災、震災を耐えた大正期の三つの木造建造物が健在で、“大正は楽しかった”という老人の言葉を思い出しました。



根津教会

六甲山荘だより

6月の六甲山荘

梅雨ともなると六甲山荘は雨と霧の世界になります。下界は曇り空でも山頂は一日霧の覆われていることもしばしばです。リビングの窓ごしに霧が流れるのを見ていると、時と場所を忘れるような、非現実的な幻想的な光景です。これも山荘の魅力のひとつと言えるでしょう。

春の作業で玄関まわりや通路の排水の改良工事を行いました。その成果が先日実証されました。集中的な大雨が降って、その時はさすがに通路も水浸しだったのですが、翌朝にはすっかり水がひいて、歩けるようになっていました。以前ならいつまでも“池”が残っていたのに、やはり苦労して手をいれただけのことはありました。

ところでその大雨のなかで作業班がしていたことは、資材運びです。ちょうどその日が石窯づくりの材料が配達される日で、大雨の降るなか4人のスタッフが重い耐火レンガをトラックから降ろし、セメントの袋を物置まで手作業で運びました。ほんとうにご苦労さまでした。

来場者数 109名 + 23名(エコツアー)



レンガ運びの作業

駒井家住宅ニュース

6月の駒井家住宅

6月のはじめ駒井家住宅の面している白川疎水でホタルの保護運動をしているグループが訪れ、しばらくのあいだ門灯をつけないでほしいと頼まれました。疎水は手入れが行き届き、雑草など生えていない流れですが、ホタルがいるのですね。近隣とのおつきあいを大切にしているスタッフが、さっそく門灯を覆う箱をつくってかぶせました。残念ながらホタルの姿は見せませんでしたが、闇のなかを飛び交うほのかな光を想像するとうれしくなりました。

来場者数・128名



スモークツリーの花

私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!

ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000 万円)

5月の募金状況 75,000円<累計8,446,249円(570名から1,504口)>
会員 75,000円(10名から15口)<累計4,414,770円(384名から880口)>
一般0円 <累計3,157,345円(191名から629口)>
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>
その他 0円<累計793,134円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ 2000 協会

アイルランドの思い出



マウント・ステュワート邸 (NT)



ドン・エンガスの崖

「ひょうごの近代住宅100選」のプレート

2009年10月にヴォーリス六甲山荘が「ひょうごの近代住宅100選」に選ばれたことはすでにお知らせしましたが、このほどその記念のプレートが届きました。さっそく六甲山荘へもってあがります。こんど山荘に来られるときはご覧になってください。

予告の予告

ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会

2010年度は次のように開催されます。

月日 2010年10月16日(土)

場所 北海道・北見市

北見にはヴォーリスが設計した牧師館「ピアソン館」があり、ピアソン会の方々が守っておられます。アメニティ 2000 協会からも多くの方が参加できるよう、企画を考える予定です。すこし先の話ですがこの機会に北見を訪ねてみませんか。